

Himmel Bild

僕は、僕らの住むこの現実・リアルな世界は、まるで写しのようによく似た、しかし実体を持たない観念・イデー、精神だけのもう一つの世界と隣接しているように思うのである。

そこは真理や普遍の世界であり、黄泉の国あるいはまだ生まれてこない人々の世界で、その世界への接近を崇高とか超越と呼ぶのだろうが、この隣接した二つの世界はほんのわずかに重なり合い隙間を生じさせている。この隙間、両義の呼び合いの場である中間領域に絵画は現出を果たすのである。

今展は新シリーズ〈Himmel Bild〉の発表である。

「Bild」はドイツ語で「像」「絵」「イメージ」、「Himmel」は「空」であるが、英語の「Sky」とは異なり、加えて「天」の意味をも持つ。

上空で繰り上げられる光りと大気の交歓の現象として現れる空の色彩は、パレット上での顔料による色彩という現象に変換され、再び大地から離れた壁面上方に掲げられる。

かくして、天空と大地の中間領域である上空を絵画は天使のように行き来することになる。

会場では、上面に大型ガラス板を設置した〈Himmel Bild〉専用のパレットワゴンも新シリーズ〈Himmel Bild〉とともに展示される。

2014年5月 藤野アトリエにて

母袋 俊也 (もたい・としや)